

神奈川県議会議員

永田まりな

MARINA NAGATA



犯罪被害者等支援の強化 自民党代表質問で黒岩知事が答弁!

鎌倉人 VOL.74

9月から始まった令和5年第3回定例会が12月18日まで開会中です。

現在所属している防災警察常任委員会で強く議論した課題のひとつが犯罪被害者支援についてです。

9月に開催された防災警察常任委員会において、神奈川県では全国初の取組みとして、犯罪被害者支援の拠点となる「かながわ犯罪被害者サポートステーション」にて、県、県警察、民間支援団体の3者が同じ場所で連携しながら、事件直後から中長期的な支援に至るまでの総合的な支援をワンストップで提供しています。

現在県では犯罪被害者等支援推進計画の改定を行っています。そこで改定にあたっては現行の第3期計画の取組をしっかりと検証して、充実・強化すべき施策を検討していく必要があること、そして、県民の皆様や被害に遭われた方、被害者支援に関わる様々な機関などの意見をよく聞くなど、検討の過程を通じて、本県の被害者支援施策がより一層充実したものとなるよう、尽力することを求めてきました。

また先日、かながわ犯罪被害者サポートステーションに伺い、関係者の意見を聞く機会をいただきました。実態を伺うと、犯罪被害者支援の中でも経済的支援の在り方が重要な課題であることを改めて痛感したため、経済的支援について検討を進めること、併せて犯罪被害者やご家族の苦しみをできるだけ軽減し、一日も早く穏やかな生活を取り戻していただくために、住民に身近な市町村や関係機関と連携したきめ細かい支援が不可欠であることから、県として、市町村への支援を含め、市町村や関係機関との更なる連携について確実に取り組むようことも強く求めてきたところです。

11月29日、本会議自民党代表質問において、犯罪被害者等支援について質問し、中でも問題なのは犯罪被害者等支援の地域格差であり、令和5年4月現在、全国の市町村で犯罪被害者等支援を目的とする条例を制定する自治体は36%、見舞金や貸付金などの経済的支援を行う自治体は37%に留まり、住所地によって、受けられる支援に差が生じる要因となっていることを指摘し、犯罪被害者等はどこに住んでいても、等しく、必要な支援が受けられるよう、施策の充実を図るべきであり、地域によって支援の内容に格差が生じている現状を踏まえ、県として犯罪被害者等支援の充実強化にどのように取り組むのか、知事に見解を聞きました。



知事からは、地域格差を問題視したうえで、使途の限られる貸付金制度から、使途を問わず返済不要な県下一律の見舞金制度を新たに導入するという答弁がなされました。これにより、深刻な被害を受けた全ての方が、見舞金を受けられるようにするとも答弁されました。また、家事や育児の支援も拡げていくため市町村への財政支援を検討すること、コーディネーターの派遣や、検討委員会での議論を深めることなど、被害者支援の充実強化について力強い答弁がなされました。

これまでの議論から一步も二歩も進んだ答弁であり非常に嬉しく思います。これらを受け、12月の常任委員会においてさらに議論を進める見通しですので、再度改めてご報告します。これからも県民、市民が安全安心に暮らすことができるよう、県議会の場で議論してまいります。

インターン生 からの便り

永田まりなは、これまで多くの大学生インターンの受け入れを行いつつも活動をしてきました。インターンに来られる学生の応募理由は、政治に興味がある、将来の夢がある、逆に将来の夢がない、社会経験として、なんとなくおもしろそうだから…など様々です。

これまで大学生の夏休み・春休み期間に限っての受け入れでしたが、現在は高校生から、期間も柔軟に相談に応じています。

現在約二ヶ月間のインターンを振り返って、鎌倉市の魅力をいくつも発見したように思います。

大船駅に行けば商業施設があり“今どき”なショッピングが楽しめるし、鎌倉駅に行けば歴史的な魅力に大いに触れることができます。

今回は、課題、とまでは言えないものの、少し気になったことを僭越ながら記述させてもらいました。

まず、観光客の過度な集中による公共交通機関の混雑や交通渋滞についてです。私自身も行き帰りは電車を利用していますが、あまりの混雑に最初に来た電車に乗れず、いくつか見送ることがしばしばあります。交通渋滞に関しても、私の住んでいる厚木市では基本的には十分な道路幅があり、混雑していてもあまり問題は感じないのですが、幅が狭い道路を比較的多く有している鎌倉市では、緊急車両の通行の際などに問題が生じやすいのではないかでしょうか。鎌倉市には毎日多くの観光客が訪れています。その観光客を分散させるためには、まだ広くは知られてはいないけれども魅力的な場所や体験を開発し、そして積極的に発信していくことや、特定の季節や時間帯に集中することを避けるためにオフシーズンのイベント開催などを行うのもいいのではないかと考えます。以前、都内によく混雑しているカフェでは、雨の日ポイント2倍デーといったキャンペーンを行っていました。

続いては、地域コミュニティの活性化に関する提案です。これは課題解決というより、色々な方の話を伺う中で、もっとこうなつたらいいな、といったようなビジョンの話です。私と同じ世代(20代前半)の若者や、市外から引っ越してきた新しい住民のコミュニティ参加がさらに増えることを期待します。若い方や新しい住民の声というのは、なにか新しいアイデアがあるのではないかでしょうか。もしかしたら意外な発見もあるかもしれません。また、こういった人々も含めたより一層の地域社会の結束力の強化は、より良い鎌倉市を作り出していくことにも大いに役立つのではないでしょうか。

そのために、地元のイベントのさらなる認知の向上や交流プログラムの拡充や支援、地域団体の活動を支援することが有効であると考えます。(二ヶ月間過ごさせていただいただけでも、多くの魅力的なイベント・団体に出会うことができました)。

こういった地域社会とのつながりから、自分の住んでいる地域に対する愛着も生まれるのではないかと考えます。

上記に述べた二つの解決策は非常に似ていると思います。その出発点は鎌倉市の魅力をさらによく知っていくことです。これから課題に対処するために、市民、自治体、地域団体などが協力し合い、包括的なアプローチを取ることが重要ないま、こうして住民一人一人のエンゲージメントを高めることは非常に有用であると感じました。



大学生(20代)インターンより

永田まりなプロフィール



1983年2月19日生まれ40歳 七里ガ浜在住

聖路加幼稚園～鎌倉市立七里ガ浜小学校～私立北鎌倉女学院中学校
神奈川県立鎌倉高校～フェリス女学院大学卒業

2013年 鎌倉市議選初当選、2017年 鎌倉市議選2期目当選

2019年 神奈川県議会議員初当選、2023年 神奈川県議選2期目当選
防災警察常任委員会、予算委員会所属、自民党神奈川県議団副団長、
自民党神奈川県連遊説局長 公式LINEで県政情報など随時発信中!

「永田まりな」公式LINE
友だち登録はこちら



永田まりな事務所

〒247-0056 鎌倉市大船2-20-31 IWOビル3-A TEL: 0467-84-9713 jimukyoku@nagata-marina.com [nagatamarina.kamakura](#)